

日本キャリア・カウンセリング学会  
第27回大会 プログラム

# カウンセリング再考

～ 支援者としての実践と研究、個と組織～



**November 2022**  
27th Conferences

2022 11/5 (土)・6 (日)

一般社団法人 日本キャリア・カウンセリング学会  
Japanese Association of Career Counseling

一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会  
第27回（オンライン）大会

2022年11月5日(土)・6日(日)

## カウンセリング再考

～ 支援者としての実践と研究、個と組織 ～

配信拠点：AP 市ヶ谷

大会特設サイト：<https://jacc-conf.info/27th/>



## 大会参加等予約申込要領（チケット予約）

### 1. チケット販売期間

2022年7月15日（金）～2022年11月4日（金）

※ 9/15(木)までは早割期間となります。

※ 大会当日にチケットを購入して参加することはできません。チケット販売期間中にご購入ください。

### 2. 申込方法

申込は、以下のサイトでのみ対応いたします。電話・FAX・メール等では、お受けいたしかねます。

原則チケットは予約制です。イベント管理サイト [Peatix](https://jacc27th.peatix.com/) の「日本キャリア・カウンセリング学会 第27回大会」  
(<https://jacc27th.peatix.com/>) より、事前にチケットをお買い求めください。

### 3. 参加費用

参加費用には大会当日の Zoom での参加費用と大会終了後のオンデマンド視聴費用が含まれています。本大会はオンライン開催のため、大会プログラム・論文集共に PDF 形式でのダウンロード配布とさせていただきます。製本された冊子の郵送・配布は致しませんので、予めご了承ください。

区分	早割(~9/15)	参加費用(9/16~)
当学会正会員	6,000 円	7,000 円
当学会賛助会員	7,000 円	8,000 円
非会員	9,000 円	10,000 円
学生		3,000 円

- 9/15(木)までは早割期間となります。(ただし、学生区分には早割制度はありません)
- 「学生」区分には社会人学生・社会人院生の方も含まれます。
- 以下の団体・企業に所属する社員・会員の方は「当学会賛助会員」としてお申し込みが可能です。

一般財団法人 ACCN 株式会社金子書房 公益財団法人関西カウンセリングセンター  
特定非営利活動法人キャリアコンサルティング協議会 中央職業能力開発協会  
特定非営利活動法人日本キャリア開発協会 株式会社日本マンパワー

(団体・企業名称 50 音順)

## 目 次

大会参加等予約申込要領（チケット予約）	2
ごあいさつ	4
第 27 回大会開催にあたって	5
大会参加者へのご案内（Zoom について）	6
第 27 回大会プログラム	7
研修会	8
基調講演	11
大会企画シンポジウム I	12
大会企画シンポジウム II	14
大会企画シンポジウム III	16
大会企画シンポジウム IV	18
クロストーク	20
各賞表彰式	22
昨年度学会賞・学術賞受賞講演	23
オンライン交流会・研究相談サロン	24
研究発表・実践報告・学位研究発表	25
公募シンポジウム	28

## ごあいさつ

一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会 会長 廣川 進  
(法政大学 キャリアデザイン学部)

当学会第 27 回大会を 2022 年 11 月 5 日 (土)・6 日 (日) に、オンラインにて開催することとなりました。大会テーマは「カウンセリング再考 ～支援者としての実践と研究、個と組織～」です。当学会名誉会長 宮城まり子先生による基調講演、4つのシンポジウム、クロストーク、6つの研修会、研究発表・実践報告、公募シンポジウム、オンラインによる会員交流会、研究相談など。オンライン形式の開催も3回目を迎える今年、さらに充実したプログラムになっています。原恵子大会実行委員長のリーダーシップの下、以下のメンバーの方々の献身的な努力のおかげでここまでできました。

近年、「人生 100 年時代～」が頭につくキャッチフレーズをよく目にして、私自身も研修会のタイトルや見出しに使わせてもらっています。これからはジョブ型雇用だ、生き残るには変化対応力だプロテション (変幻自在) だ……。確かにそのとおりですし、この 20 年近く「自律型キャリア」の研修会では私もそう力強く伝えてきました。

しかし、このごろ、考え込むことも多くなりました。日本では、その時々で流行語があり、大きな声があるので、いつのまにかみんなその言葉を唱和して、がんばってきた歴史があります。個人主義が結局確立しないまま、集団主義や同調圧力の「空気」の中で。戦時中ならば「鬼畜米英」「八紘一宇」「欲しがりません 勝つまでは」、戦後は一転して、「民主主義」「高度成長」「企業戦士」。しかし、たとえば「生涯現役」って、みんなが目指さないといけないことでしょうか。なんでも「自己責任」という言葉で、本来 (たとえば「福祉」) の問題を棚上げにはしていないでしょうか。そもそも私たちは、少子高齢化が世界で最も早く進行する日本で、どんな国家を作ろうとしているのでしょうか。モデルは米国型か北欧型かラテン系なのか、新たな日本型を作り出すのか。こうした本質的で長期的なデザインの検討はいつまでもなされないで、その時々々に次々に現れる流行りの歌をみんなで口ずさんでいる。

最近、私の調査研究の準備もあって、企業の役職定年前後の 50 代の方の話を聴かせていただくことが多いのですが、こんな声も多いです。そもそも定年を延ばしてくれなんてこちらから頼んでもいないし、生涯現役なんて、自分が入社した頃は言われていなかった。60 歳で花束もらって退職してあとは年金で悠々と暮らしていくことに何の疑いもなく、それを目指してここまでがんばってきたのに。勝手にゴールポストを後ろにズラされて、試合のルールも変えられて、さあ、もうひと試合フルに全力で戦え、と言われていく気がする。やる気がなくなって当然でしょう。

一方、企業や国は日く、「定年延長で増える人件費の総額を確保するために、50 歳から給料を下げる必要がある」、「平均寿命が急激に伸びたから受給年金額を減らす必要がある」。国家や企業の経営サイドの説明は合理的なのだろうし、その視点もバランス良く取り入れていくべきだとは思いますが。

しかし支援者たるカウンセラーは、まずは本人サイドに立つべきではないでしょうか。「働かないオジサン」「残念なシニア」との言葉も流行り、職場で若い世代からは疎まれ、家庭でも居場所があやうい中高年世代。彼ら彼女らの声に耳を澄ます。変化対応、適応力といわれても、急に変われないのはあなた (だけ) のせいではない。変われないにも訳がある。支援者側の認知の枠を広げておかないと、無念さ、やるせなさ、不信感、無力感、疎外感、あせり、あきらめなどのつぶやきを聴き取ることが難しいかもしれません。モチベーションアップや統合的ライフプラン作りも、すべてはここから始まるのではないのでしょうか。このテーマ、実は当学会 11 月 5 日 (土) 大会シンポジウム I 「希望、正義、物語 (ナラティブ)、今、私たちができること」で、キャリア関連 3 学会の玄田有史氏 (日本キャリアデザイン学会会長)、下村英雄氏 (日本キャリア教育学会会長) と私で大いに語り合います。ご期待ください。

大会実行委員長：原 恵子 (筑波大学)

大会副委員長：加賀谷 晴美 (札幌大学) 中村 准子 (筑波大学)

大会事務局長：野条 美貴 (目黒駅前メンタルクリニック)

大会技術担当：大野 亮一郎 (清泉女子大学)

大会実行委員 (50 音順)：磯貝 和子 (株式会社 SEMILLA) / 小倉 浩靖 (プレイワーククラブ) / 仙波 亮一 (京都橘大学) / 高橋 浩 (ユースキャリア研究所) / 土田 博司 (日本キャリア・カウンセリング学会) / 馬場 洋介 (帝京平成大学) / 原 哲也 (原哲也事務所) / 藤田 るり子 (株式会社富士通ラーニングメディア) / 山本 和美 (山梨大学) / 吉川 雅也 (関西外国語大学)

## 第 27 回大会開催にあたって

第 27 回大会実行委員長 原 恵子

(筑波大学 働く人への心理支援開発研究センター)

第 27 回オンライン大会プログラムをお届けするにあたりまして、大会の開催にご支援ご協力いただきました全ての皆さま、参加者の皆さま、そしてプログラムを手にとってくださった皆さまに心より感謝申し上げます。日本産業カウンセリング学会から日本キャリア・カウンセリング学会へと改名し、2 度目の大会となります。

今年度の大会では、「カウンセリング」の可能性に、改めて目を向けたいと考えます。カウンセリングとは、支援とは、人の変化・成長とは、支援者としての在り方とは…。カウンセリングにできることは何なのか、あるいはカウンセリングの持つ意味とはどのようなものなのか、シンポジストや講師・研究者・実践者の方々のお話を伺いながら、参加者の方々の声に耳を傾けながら、ともに考えることができればと思います。大会テーマは、「カウンセリング再考～支援者としての実践と研究、個と組織～」です。大会を通して皆さまとともに考え、語り合えることを楽しみにしております。実践者と研究者が広く集う当学会ならではの学びと交流の場となることを期待しております。

今年の大会もオンラインでの開催となります。場所を選ばずに参加できることがオンライン大会のメリットですので、ご自宅などリラックスして過ごせる場所からご参加ください。また、今年も大会終了後のオンデマンド視聴の準備も進めています。「基調講演」、6 つの「研修会」、4 つの大会企画「シンポジウム」、「クロストーク」や「昨年度学会賞・学術賞受賞講演」の動画がご視聴可能です。時間が重なって視聴できなかった研修会やシンポジウムも全てご覧いただくことができます。大会当日に別のご予定がある方や見逃しが発生した方も、必要な部分を後日ご視聴ください。

大会参加が初めての方や当大会の全体像をまず知りたい方は、初日の「オープニングセッション」にご参加ください。「大会の活用法・歩き方」をご説明させていただきます。初日の夕方には、「オンライン交流会」や「研究相談サロン大会」など、参加者の皆さまが主体となって話し合える場所もご用意していますので、お気軽にお立ちよりください。プログラムの最後には、「クロージングセッション・閉会式」をご用意しています。今年度大会をともにふりかえり、大会での学びや交流の余韻を味わい、次年度につなげる時間にできたらと思っています。

大会が終わったあと、参加されたおひとりおひとりの中に何かしらの余韻が残るでしょうか。ぜひ大会終了後、大会アンケート等からお送りください。あるいは広報委員会が毎月開催している Zoom によるオンライン交流会でお話になってください。年に 1 回の大会が終わった後も、参加者や会員の皆さまとのつながりが続いていくことを心より願っております。

## 大会参加者へのご案内 (Zoom について)

---

第 27 回大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オンライン会議サービス「Zoom」や、音声入りスライドを利用したリモート（オンライン）開催となります。

### Zoom とは

Zoom とは、インターネット上に仮想的に作られた会議室に参加者が集まり、お互いの顔を見ながら双方向に会話が行えるサービスです。

参加者は、面倒なユーザー登録なども不要で、入室するための URL（リンク）をクリックするだけで会議に参加することができます。

大会のチケット購入者には、開催 3 日前までに入室情報がメールで届きますので、その情報を利用して大会に参加して下さい。初めて PC から参加する場合、最初の接続時にソフトウェアのダウンロードやインストール、セットアップ等が行われるため多少の時間を要します。

当日スムーズに参加するためにも、事前に Zoom 公式ダウンロードセンターより「ミーティング用 Zoom クライアント」をダウンロードし、インストールを済ませておくことをお勧めします。

最低限の利用環境として、ブラウザ (Edge/Google Chrome/Firefox/Safari) を使ってインターネットに接続でき、音声と動画が再生できる環境が必要となります。

例えば普段 YouTube などをご覧になられている環境であれば問題ありませんが、大会で質問など発言をしたい場合はマイクと、できれば Web カメラが利用できる環境をご用意下さい。

※スマートフォンやタブレットの場合は、事前にアプリケーションのインストールが必要となります。

### < PC からの利用 >

Zoom 公式ダウンロードセンター : <https://zoom.us/download>

初めて利用される方は、以下の URL を利用した接続テストをお勧めします。

テストは無人で行われますので、カメラやマイクのミュート（消音）機能なども自由にお試し下さい。

Zoom 接続テスト : <https://zoom.us/test>

### < スマートフォン・タブレットからの利用 >

iPhone の場合は App Store から、Android の場合は Google Play Store からアプリをダウンロードしてください。

それぞれのストアで「zoom」と検索し「ZOOM Cloud Meetings」をインストールしてください。

# 第27回大会プログラム

(敬称略)

大会初日:11/5 (土)							
10:00~	オープニングセッション						
10:30~12:00	研修会(リアルタイム形式)				研修会(オンデマンド形式)		
	<b>W1</b> 関係モデルによる総合的なカウンセリング 杉原 保史	<b>W2</b> セルフ・キャリアドックにおけるカウンセリング 高橋 浩	<b>W3</b> 弁護士から見た支援の可能性—キャリアとメンタルヘルスの法律講座 牛見 和博・山田 英樹	<b>W4</b> システム論で捉える個と組織:組織開発の視点から 土屋 耕治	<b>W5</b> もう一度カウンセリング入門 国重 浩一	<b>W6</b> 職場のメンタルヘルス 大塚 泰正	
昼休憩(45分)							
12:45~13:00	開会式						
13:00~14:30	基調講演 キャリアコンサルタントの質的向上とスーパーヴィジョンの必要性 日本キャリア・カウンセリング学会名誉会長 宮城 まり子						
	休憩						
14:45~15:15	表彰式						
15:15~15:35	昨年度学会賞(小澤 康司:リアルタイム形式)・学術賞(原 恵子:オンデマンド形式) 受賞講演						
休憩							
15:45~17:15	シンポジウムⅠ キャリア関連3学会の連携企画シリーズ2 「希望、正義、物語(ナラティブ)、今、私たちができること」 下村 英雄/玄田 有史/廣川 進/野条 美貴(モデレーター)						
	休憩						
17:25~19:00	オンライン交流会			オンライン研究相談サロン			

大会2日目:11/6 (日)							
10:00~11:30	シンポジウムⅡ 「多職種連携の実際問題、他職種は何を見ている?何を気にする?」 小川 耕平/平井 みどり/長野 晋/新免(三浦) 玲/杉山 崇			クロストーク(オンデマンド形式) 「今改めて問う日本のカウンセリング—多文化的視点から考えてみた」 三好 真/三宅 麻未/新免(三浦) 玲/浅野 衣子/国重 浩一			
	昼休憩(45分)						
①12:15~12:45 ②12:45~13:15 ③13:15~13:45	研究発表・実践報告・学位研究発表			公募シンポジウム			
	<b>R01</b> 座長:古田 克利 ①[研究]黒沢 拓夢 ②[研究]赤城 如里 ③[研究/動画]高橋 誠	<b>R02</b> 座長:堀内 泰利 ①[研究]五十嵐 敦 ②[学位]新井 香子 ③[研究/動画]松尾 藍	<b>R03</b> 座長:原 恵子 ①[研究]中村 准子 ②[研究]原 恵子 ③[研究/動画]永野 悠一	<b>S01</b> 大学の発達障害学生支援における具体的方策と連携の検討 (企画者:山本 和美)	<b>S02</b> キャリアコンサルタントと自殺予防~101名のアンケート調査結果から見えてきたことと今後の展望~ (企画者:田村 三太)	<b>S03</b> 定年延長に伴う、大企業の50代の意識と課題、「人生のリ・デザイン」へ (企画者:廣川 進)	
休憩							
①14:00~14:30 ②14:30~15:00 ③15:00~15:30	研究発表・実践報告・学位研究発表			公募シンポジウム			
	<b>R04</b> 座長:山本 和美 ①[研究]前田 解子 ②[研究]渡部 昌平 ③[学位/動画]湯口 恭子	<b>R05</b> 座長:三好 真 ①[実践]長谷川 能扶子 ②[研究]浅野 浩美 ③[研究/動画]藤森 圭子	<b>R06</b> 座長:中村 准子 ①[実践]須藤 章 ②[研究]森 理宇子 ③[研究/動画]尾野 裕美	<b>R07</b> 座長:高山 美穂 ①[学位]杉沢 有梨 ②[研究]相澤 秀一 ③[研究/動画]道谷 里英 (企画者:野条 美貴)	<b>S04</b> システマティック・アプローチを再考する (企画者:野条 美貴)	<b>S05</b> キャリア支援を踏まえたリハビリテーションカウンセリングの学び (企画者:松為 信雄)	<b>S06</b> 育児女性のキャリアに立ちはだかるメンタル問題 (企画者:坂東 愛子)
休憩							
15:45~17:15	シンポジウムⅢ 「スーパーヴィジョン再考—本学会におけるSV養成訓練の取組と展望」 星野 宏/棟居 秀信/濱田 多美代/三川 俊樹			シンポジウムⅣ 「人的資本経営に活かすキャリア・カウンセリング—健康経営、ダイバーシティ、従業員エンゲージメントの視点から」 松本 桂樹/安達 智子/山本 寛/石山 恒貴/古田 克利			
	休憩						
17:30~18:00	クロージングセッション・閉会式						

11/5 (土)

10:30~12:00

<b>W1</b>	<b>関係モデルによる統合的なカウンセリング [リアルタイム形式]</b>
<p>心理支援への統合的なアプローチについて、みなさんと一緒に学びたいと思います。心理支援には、心理力動的、ヒューマニスティック・体験的、認知行動的、システミック、ナラティブ、実存的、などなど、多様なアプローチがあります。統合的なアプローチは、単一の学派に依拠せず、多様な学派をリソースとして活用するアプローチの総称です。私はその中でも関係モデルによる統合的なアプローチを特に追究しています。技法モデルでは、技法そのものが治療効果をもつと考えられていますが、これとは対照的に、関係モデルでは、どのような技法も、良質のカウンセラー・クライアント関係の中で効果を発揮するということが前提とされています。関係モデルによる統合的なアプローチの視点から、キャリア・カウンセリングの実践にとって重要と思われる考え方や関わり方をお伝えしたいと思います。</p>	
<p>杉原 保史 (すぎはら・やすし)</p> <p>京都大学学生総合支援機構学生相談部門 部門長 (教授)</p> <p>1961 年神戸市生まれ。教育学博士。公認心理師。臨床心理士。日本心理療法統合学会副理事長。京都大学の学部・大学院で臨床心理学を学ぶ。大谷大学文学部専任講師、京都大学保健管理センター講師等を経て、現職。30 代の終わり頃にポール・ワクテルの心理療法統合の考え方に出会い、ワクテルの主要著作 4 冊を翻訳。その後、やはり心理療法統合の流れに属するジェローム・フランクの古典的名著『説得と治療』を翻訳。関係モデルによる統合的な心理カウンセリングを学び、日々、実践している。</p>	



<b>W2</b>	<b>セルフ・キャリアドックにおけるカウンセリング [リアルタイム形式]</b>
<p>セルフ・キャリアドック (以下、SCD) の最終的な姿は、仕事を通じて個人が働きがいを獲得し、同時に組織は業績を向上していくこと、すなわち、個人と組織の Win-Win 関係を実現することです。ところが、日本型雇用では、必ずしも個人が希望する職務に就けるとは限りません。そこで、個人が深層に持つ根源的な Will を自覚してもらい、これに基づいて組織・職場からの要請 (Must) との擦り合わせを実現する支援が求められます。本研修では、SCD の在り方を概観した後に、Will と Must とのすり合わせを実現する面談手法について解説をいたします。具体的には、認知心理学の視点とナラティブ・アプローチを融合してクライアントの根源的 Will を深掘りする技法と、Will と Must を統合するジョブ・クラフティングの要点について解説します。SCD に限らず、企業内カウンセリングを推進する支援者の方は是非ご参加ください。</p>	
<p>高橋 浩 (たかはし・ひろし)</p> <p>ユースキャリア研究所 代表</p> <p>博士 (心理学)。キャリアコンサルタント。公認心理師。</p> <p>法政大学キャリアデザイン学部/明治学院大学心理学部/目白大学大学院心理学研究科 非常勤講師。</p> <p>日本キャリア開発協会 理事。本学会理事 研究委員長。1965 年青森県生まれ。弘前大学教育学部卒業後、NEC グループの半導体設計会社に勤務。設計エンジニア、品質管理、経営企画、キャリアアドバイザーに従事。2011 年退職。並行して、自身のキャリアに疑問を持ち、1996 年からカウンセリングを学び始め、2001 年 CDA、2012 年博士号を取得、同年、研究所を開設。現在、個人が仕事で幸せになるための実践と研究を行っている。著書『セルフ・キャリアドック入門』、『社会人のための産業・組織心理学』、他多数。</p>	



W3

### 弁護士から見た支援の可能性—キャリアとメンタルヘルスの法律講座 [リアルタイム形式]

当講座は、キャリア支援・メンタルヘルス支援の実務を行う中で、弁護士等法律の専門家にリファーすることで更に充実した支援を行える事案を把握し、適切にリファーできるための基礎的な法的知識を学ぶ研修であり、前半を牛見が、後半を山田が担当する。短時間で効率的に学ぶため、離婚、労働、債務整理などを例に挙げ、面談でどのような場合に法律家へのリファーを考えるべきか等、実践を意識した内容とする予定である。なお、牛見は一般社団法人弁護士EAP協会の理事長であり、山田は一般社団法人日本キャリア法務協会の理事長である。当講座においては、より良いキャリア支援・メンタルヘルス支援を行うための両協会の活用方法にも触れる予定である。



牛見 和博 (うしみ・かずひろ)

弁護士法人牛見総合法律事務所

1981年山口県生まれ(40歳)。2013年に故郷である山口市で開業。これまでに法人・個人あわせて5000件以上の相談が寄せられ、弁護士5名、臨床心理士1名、スタッフ8名、県下有数の規模に成長。顧問先は100社を超える。2021年には全国の弁護士とともに一般社団法人弁護士EAP協会を設立し、理事長に就任。「日本中の人が弁護士にアクセスできて相談できるようにする」というビジョンを掲げ、EAP(従業員支援プログラム)を全国に普及すべく活動している。

山田 英樹 (やまだ・ひでき)

弁護士、国家資格キャリアコンサルタント(登録番号:20011604)

一般社団法人日本キャリア法務協会 理事長

早稲田大学人間科学部卒業(生体機能学研究室・今泉ゼミ)、神戸大学大学院経済学研究科博士課程前期課程社会人コース中退、CC養成講座(LEC)修了。民間企業勤務等を経て、司法試験予備試験、司法試験合格。最高裁判所司法修習生修了。勤務弁護士を経て、「上町総合法律事務所」設立。「目の前の人を支援する」ため、法的な支援とキャリア支援の架橋に関する活動を行う。神戸大学法科大学院リーガルフェロー、日本プロ野球選手会公認代理人。法と教育学会、民事信託士協会、中小企業家同友会会員。



W4

### システム論で捉える個と組織: 組織開発の視点から [リアルタイム形式]

この研修会では、システム論を切り口に、組織と個の関係を考える視点をご紹介します。システム論で捉えるとは、人が様々なシステム(要素同士が相互作用し続ける全体)の中において、人の行動や考え方がシステムの関係や状況によって変化すると考えることです。たとえば、ある人が「問題」とされている場合にも、その人自身が「問題」なのではなく、関わりの枠組みや、関係の中で起こってくるコミュニケーションのパターンによって、「問題」と見なされると考えたりします。研修会では、家族療法で用いられるシステムズアプローチの発想のほか、システム論の考え方、3者関係について説明する社会心理学の理論(バランス理論など)を挙げながら、個と組織の関係を捉える枠組みを紹介します。これらを通して、個と組織の有機的なつながりを意識しつつ、そこに働きかけていく組織開発の可能性について、一緒に考えられる場にできたらと考えています。



土屋 耕治 (つちや・こうじ)

南山大学人文学部心理人間学科准教授

南山大学人間関係研究センター員を兼任。1982年、神奈川県横浜市生まれ。2011年3月名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士後期課程単位取得退学。南山大学講師を経て、2021年4月より現職。専門領域は、社会心理学、組織開発、体験学習。米国NTL Institute OD Certificate Program修了。社会心理学の実証的研究に加え、Tグループのトレーナー、組織開発のコンサルティングも行うほか、OD Network Japanの基礎講座の講師も担当している。組織開発では、事例の心理学的理解、倫理、思想史、熟達化を専門としている。

W5

## もう一度カウンセリング入門 [オンデマンド形式]

本研修会では、カウンセリングを学ぶ過程の中で出会う基本的な姿勢や主訴、傾聴について、もう一度検討していただきました。このような基本的なことは、十分に語られることなく概要的な説明に留まってしまいがちです。ところが、このようなところこそが、カウンセリングに留まらず、さまざまな相談業務を支えてくれるものであり、そのセッションの満足度に大きな影響を及ぼすものです。そして、基本的な方針さえ知っていれば誰でもできるようになるものではなく、実践経験を通じ、さまざまな検討を通じて、研鑽を積み上げ続けていくべきものであると考えています。本研修会が、そのような継続的な取り組みにおいて、何らかの助けになることを願っているところです。



国重 浩一 (くにしげ・こういち)

NPACC NZ Limited ディレクター ナラティブ実践協働研究センター所属

ダイバーシティ・カウンセリング・ニュージーランド所属

ニュージーランド、ワイカト大学カウンセリング大学院修了。日本臨床心理士、ニュージーランド、カウンセラー協会員。1964年、東京都墨田区生まれ。ニュージーランド、ワイカト大学カウンセリング大学院修了。日本臨床心理士、ニュージーランド、カウンセラー協会員。鹿児島県スクールカウンセラー、東日本大震災時の宮城県緊急派遣カウンセラーなどを経て、

2013年からニュージーランドに在住。同年に移民や難民に対する心理援助を提供するための現地 NPO 法人ダイバーシティ・カウンセリング・ニュージーランドを立ち上げる。2019年には東京に一般社団法人ナラティブ実践協働研究センターの立ち上げに参加。2019年から日本産業カウンセリング学会の理事、2021年から日本キャリア・カウンセリング学会の理事となり、国際交流委員会に所属。

W6

## 職場のメンタルヘルス [オンデマンド形式]

筑波大学に赴任してから、キャリアコンサルタントなどキャリア支援に関わる方々との接点が増えました。私自身は臨床心理士として職場のメンタルヘルスに長く関わっておりますが、キャリアに関する相談も受ける機会が多くあります。私はキャリアの専門家ではありませんが、私が担当させていただいた事例を参考に、私がどのようなカウンセリングを現場でさせていただいているか的一端をご紹介することができればと思っています。キャリアがご専門の皆様も、ぜひこの研修会をお聞きいただき、メンタルヘルス不調者のキャリア支援や組織支援にさらに積極的に関わっていただければ幸いです。



大塚 泰正 (おおつか・やすまさ)

筑波大学人間系心理学域教授

博士(文学)(早稲田大学)。専門は臨床心理学、産業保健心理学。

著書に『健康・医療心理学入門』(有斐閣、2020)、『よりよい仕事のための心理学』(北大路書房、2019)、『Q&Aで学ぶワーク・エンゲイジメント』(金剛出版、2018)、『公認心理師のための説明実践の心理学』(ナカニシヤ出版、2018)、『産業保健心理学』(ナカニシヤ出版、2017)など。

●11 月 5 日 (土) 13:00~14:30

## キャリアコンサルタントの質的向上とスーパーヴィジョンの必要性

講師 宮城 まり子 日本キャリア・カウンセリング学会名誉会長

### 【概要】

厚労省はキャリアコンサルタント 10 万人計画を立案し施策を推進してきました。令和 3 年版厚生労働白書によれば、キャリアコンサルタントの数は現在約 89,000 人(国家資格キャリアコンサルタントと技能士の総計)に達しています。2024 年までに当初目標とした 10 万人計画が達成されると考えられています。しかし、量的にキャリアコンサルタントが多数育成されたとしても、果たして個々の質的側面は十分でしょうか。

キャリアコンサルタントによるキャリア支援は、時にはクライアントの人生を左右する責任の重い大切な仕事です。したがって、キャリア支援者は資格取得以降も継続的に絶えず自己研鑽を行い、担当事例のスーパーヴィジョンを受け、自己のキャリア支援を振り返るなど、質的向上努力を絶えず行うことが欠かせません。この講演では、キャリアコンサルタントのさらなる質的向上とスーパーヴィジョンの必要性を取り上げ、皆様と一緒にキャリアコンサルタントの質的向上について考えたいと思っています。

### 【講師】



宮城 まり子 (みやぎ・まりこ)

日本キャリア・カウンセリング学会名誉会長。

早稲田大学大学院文学研究科心理学専攻修士課程修了、立正大学心理学部臨床心理学科教授、法政大学キャリアデザイン学部教授、法政大学大学院キャリアデザイン学研究科教授を経て現在に至る。専門は、産業臨床心理学、キャリア心理学、キャリアカウンセリング。キャリアとメンタルの統合的支援、キャリアカウンセラーの養成、キャリアカウンセリングのスーパーヴィジョン、企業おけるキャリア開発支援などに長く携わっている。

MEMO

●11 月 5 日 (土) 大会初日 15:45~17:15

キャリア関連 3 学会の連携企画シリーズ 2

## 希望、正義、物語 (ナラティブ)、今、私たちができること

(敬称略、順不同)

シンポジスト	下村 英雄	日本キャリア教育学会 会長
	玄田 有史	日本キャリアデザイン学会 会長
	廣川 進	日本キャリア・カウンセリング学会 会長
モデレーター	野条 美貴	日本キャリア・カウンセリング学会 理事

### 【企画主旨】

#### 二極化が加速する今、人を支援することの意味と行動をあらためて問う

コロナ禍もあり、これからの働き方、生き方は激変していくことが予想されます。非正規雇用割合の増加、平均所得の低下・・・、外的キャリアだけでみれば、2 極化は加速していくでしょう。一方、巷で叫ばれているさまざまな言説があります。「100 年時代の人生戦略」(リンダ・グラットン)、「生涯現役であるために〇〇が必要・・・」、「これからはジョブ型雇用だ」・・・。「自律型キャリア」、「変幻自在のプロティアン・キャリア」、「生き残るためのリスクリング」なども流行語のように広まりつつあります。

しかし、自律型キャリアは 20 年前から、「プロティアン・キャリア・・・生涯を通じて生き続けるキャリア (キャリアへの関係性アプローチ)」は 2016 年、「リスクリング」のもととなる考えの 1 つ、E・シャインの「キャリア・サバイバル」は 2003 年にはすでに翻訳が出版されています。

この 20 年近く、なぜ「キャリア自律」は浸透してこなかったのでしょうか。海外輸入の概念は日本の精神風土と擦り合わせる過程が必要で、日本型の「メンバーシップ型」にも意味はあったし、すべてが「ジョブ型雇用」に耐えられる個人と組織とは限らない現状もあるでしょう。

職場で「働かないオジサン」「残念なシニア」とよばれ居場所のみつからない人たちにも「物語」はあります。キャリア支援者は組織の置かれている状況も理解しながら、ひとりひとりの個人の「語りを聴く」ことも大事な仕事です。キャリア自律、ジョブ型、リスクリング等々、変化に適応して変わりなさい、変われないのはあなたの責任と問題なのだ、という組織のメッセージをそのまま伝えるのではなく、個人のサイドに立ってみるとどうでしょう。知らないうちにゴールを延ばされ、ルールを変えられ、ロスタイムだと思っていたら、さらにフルタイムで試合を続けなくてはならない、という状況でどんなつぶやきが聴かれるでしょうか。無念、不安、不信・・・

モチベーションの低下は個人と組織に大きなマイナスですが、再生のヒントはどこにあるのでしょうか。支援者にできることはあるのでしょうか。私は「語り」を丁寧に聴くことで主体的行為者としての自分を取り戻すこと。そしてキャリア・メンタルにライフの視点を加えた統合的なアプローチではないかと思っています。

当日はシンポジストの先生方と活発な議論ができたらいと思っています。

下村氏は「Social Justice (社会的公正)」に着目され、こう述べています。

北米モデルだけでなく欧州、北欧型も含めて多様性、多文化性に開かれる必要がある。また社会、産業、企業の構造、仕組み、運用の問題と個人の適応の問題は分けて議論すべきである。

社会正義のキャリア支援の実践として、カウンセリング、エンパワメント、アドボカシーの 3 点を掲げ、1 対 1 のカウンセリングはもちろん、そこから得た気づきを職場や学校、組織や社会へ働きかけていく支援者の役割が今後一層求められる。

「労働の人間化」(木村周)という言葉も、こうした状況の中、ますます重みを持って響いてきます。

玄田氏はニート、フリーター等就業機会に恵まれない人々の研究をされてきましたが、無業者、不安定雇用者、安定雇用者の間での移動が難しくなっている状況を「労働市場の多重構造化」とよんでいます。また、希望を抱くこと自体が難しくなっている時代の中でこう述べます。

希望は英語で Hope というが、Hope is a Wish for Something to Come True by Action だと。希望には「気持ち(Wish)」と、自分にとっての大切な「何か(Something)」、それがどうすれば叶うのかという「実現(Come True)」に向けた手立て、そして何より自分の足で「行動(Action)」するという4つの柱から成り立っている。だから、本当は希望を持ちたいとしたら、その4つのうち、今の自分には何がみつかっていないかから、考えてみようよ、と伝える。

## 【シンポジスト】



下村 英雄 (しもむら・ひでお)

<プロフィール>

日本キャリア教育学会会長。労働政策研究・研修機構職業構造・職業指導部門副統括研究員。筑波大学大学院博士課程心理学研究科修了。博士(心理学)。主著に『社会正義のキャリア支援—個人の支援から個を取り巻く社会に広がる支援へ』(図書文化社)、『成人キャリア発達とキャリアガイダンス:成人キャリア・コンサルティングの理論的・実践的・政策的基盤』労働政策研究・研修機構(平成26年度労働関係図書優秀賞)、『キャリア・コンストラクションワークブック:不確かな時代を生き抜くためのキャリア心理学』(金子書房)、『ヘルピング・スキル第2版—探求・洞察・行動のためのこころの援助法』(金子書房)など。国家資格キャリアコンサルタント、1級キャリアコンサルティング技能士。



玄田 有史 (げんだ・ゆうじ)

<プロフィール>

日本キャリアデザイン学会会長。東京大学社会科学研究所長。経済学博士。1964年島根県生まれ。東京大学大学院経済学研究科退学。学習院大学経済学部教授等を経て、2007年より東京大学社会科学研究所教授。経済学博士。専門は労働経済学。著書に『仕事のなかの曖昧な不安』『ジョブ・クリエイション』『14歳からの仕事道』『希望のつくり方』等。編著に『人手不足なのになぜ賃金が上がらないのか』『仕事から見た「2020年」』等。



廣川 進 (ひろかわ・すすむ)

<プロフィール>

日本キャリア・カウンセリング学会会長 法政大学キャリアデザイン学部教授  
大正大学大学院博士課程(臨床心理学専攻)修了(文学博士)。著書に『失業のキャリアカウンセリング』(金剛出版)、『成人発達臨床心理学 個と関係性からライフサイクルを観る』共著(ナカニシヤ出版)、『統合的心理臨床入門』(共編著)ミネルヴァ書房など。公認心理師、臨床心理士、シニア産業カウンセラー、2級キャリア・コンサルティング技能士。日本産業ストレス学会理事。

## 【モデレーター】



野条 美貴 (のじょう・みき)

<プロフィール>

日本キャリア・カウンセリング学会理事  
目黒駅前メンタルクリニック キャリア部門スーパーバイザー。法政大学大学院キャリアデザイン学研究科修了。公認心理師、1級キャリアコンサルティング技能士。共編著:『ライフ・キャリア 人生100年時代の私らしい働き方』(金子書房)

## 大会企画シンポジウムⅡ

●11月6日(日) 大会2日目 10:00~11:30

### 多職種連携の実際問題、他職種は何を見ている？何を気にする？

(敬称略、順不同)

シンポジスト	小川 耕平	目黒駅前メンタルクリニック 院長
	平井 みどり	兵庫県赤十字血液センター 所長
	長野 晋	SMBC コンサルティング
	新免(三浦) 玲	法政大学グローバル教養学部オフィスマネージャー
コーディネーター	杉山 崇	神奈川大学教授・大学院人間科学研究科委員長

#### 【企画主旨】

「多職種連携は重要だ、大切だ」、とはよく言われています。しかし、私たちカウンセラー/キャリアコンサルタントが活動する職種はさまざまです。それぞれに連携する専門職もステークホルダーも違います。専門性や職域におけるロールが違えば物事の見え方も違います。私たちが私たちの専門性で良かれと判断したアクションが、他の専門性や職域のロールから見ると邪魔で余計に見える場合もあります。その中で、私たちがどのように連携を考える必要があるのか、不明確なのが現状です。そこで、ここでは医療、企業、教育の各職域に詳しい方々のお話から、私たちカウンセラー/キャリアコンサルタントがどう在るべきか、考えるヒントをいただきましょう。

#### 【シンポジスト】

小川 耕平 (おがわ・こうへい)

<プロフィール>

目黒駅前メンタルクリニック 院長

専修大学・同大学院 兼任講師、青山学院大学 非常勤講師

精神科医、産業医。博士(医学)、国家資格キャリアコンサルタント

福島県立医科大学卒業、日本医科大学大学院修了。

専門：精神薬理学・司法精神医学・産業精神保健学

大学病院勤務、市中病院での精神科救急医療従事を経て、平成30年から現職。医療機関で医療従事者とキャリアコンサルタントの協働での復職支援・就労支援のプログラムを体系的に始めるなど、働く人のメンタルヘルスや障がい者雇用に関する様々な社会的課題の解決を目指した多面的な多職種連携によるアプローチを実践するほか、産業医や司法精神医学の活動も行っている。

平井 みどり (ひらい・みどり)

<プロフィール>

神戸大学名誉教授 前兵庫県赤十字血液センター所長

兵庫県生まれ、薬学部卒業後、医学部に入学、在学中に娘二人出産し10年かかって卒業。医師・薬剤師。大学院修了後は指導教授の勧めに従い、薬学研究に従事。大学病院の薬剤部を経て神戸薬科大学にて教育・研究に従事。2007年より神戸大学医学部附属病院教授・薬剤部長として、教育・研究及び薬剤師の職能拡大、多職種連携に取り組む。2017年に大学を定年退職後、2018年~2022年まで兵庫県赤十字血液センター所長。血液センター退職後は献血の健診を行う傍ら、がん専門病院での患者傾聴外来に従事。地域住民の健康増進活動にも取り組む。

長野 晋 (ながの・すすむ)

<プロフィール>

S M B Cコンサルティング株式会社



大学卒業後金融機関に就職。20年余り営業現場で勤務。その後、お客さま相談室へ異動し、8年間勤務。お客さま対応に役立てるために心理学に興味を持つ。また、管理職としてマネジメントを学ぶ中でも心理学に対する関心を高めた。高齢者層のお客さま対応について、社内での研修等に関わることが多く、高齢者問題について学び、高齢社会エキスパート資格取得。定年後、グループ内企業に転籍し、自分自身の経験からキャリアデザインの必要性を感じて国家資格キャリアコンサルタント、またシニア層の支援スキルとして産業ジェロントロジーシニアインストラクター等取得。現在はカスタマーハラスメントを防止する活動、シニアの働き方を考える活動、キャリア研修の教材作成等々の活動に参画している。

新免 (三浦) 玲 (しんめん (みうら)・れい)

<プロフィール>

法政大学グローバル教養学部オフィスマネージャー、熊本大学教授システム学研究センター & 青山学院 Hicon 研究センター研究員、Earth Career Lab.代表、当学会ブランディング&国際交流委員



国家資格キャリアコンサルタント・公認心理師、教育学(修士)

アメリカの州立大学卒業後より学生や社会人の雇用支援業務に従事。学校や企業向け英語教育企画、就転職希望者と企業人事向け雇用コンサルティング経験を経て、主に高校生・大学生等若年層の(再)就職キャリア支援事業設計、講師・バイリンガルカウンセラー。複数の大学や附属機関、企業等の外部講師やコンサルタントを務める傍らキャリア教育プログラム開発研究に取り組んでいる。

【コーディネーター】

杉山 崇 (すぎやま・たかし)

<プロフィール>

神奈川大学人間科学部 教授、神奈川大学心理相談センター 所長

臨床心理士・公認心理師、1級キャリアコンサルティング技能士

1994年より発達障害児の心理支援、精神科、学校/教育委員会、EAP事業所などで心理職を務め、並行して日本学術振興会特別研究員など心理学研究者として活動する。

90年代は脳の病、認知の病とされていたうつ病 (depression) の社会要因 (対人関係や立場、キャリアなど) の病としての側面を心理科学的に実証。

成果を支援活動に活かすべく、2000年代からキャリア支援へと活動の幅を広げる。

発達障害をワーキングメモリ実行機能と衝動性の特性と再定義し、心理支援・キャリア支援の文脈では自閉症スペクトラム傾向を「認知スタイル」、ADHD傾向を「行動スタイル」と捉えることを提案し、アセスメントツールと支援メソッドの開発に注力している。



MEMO

## 大会企画シンポジウムⅢ

●11月6日(日) 大会2日目 15:45~17:15

### スーパービジョン再考—本学会におけるSV養成訓練の取組と展望

(敬称略、順不同)

シンポジスト	星野 宏	キャリアサポートオフィス process 代表
	棟居 秀信	一般社団法人カウンセリング・レビュー・ラボ 代表理事
	濱田 多美代	たみこころの相談室 代表
コーディネーター	三川 俊樹	追手門学院大学心理学部教授

#### 【企画主旨】

2009年2月にスタートした本学会のスーパーバイザー養成訓練は、その後13年余りの間にSV養成訓練プログラムを確立し、適切なスーパービジョンが提供できるスーパーバイザーの養成と、スーパーバイザー訓練生のスーパービジョンを担当するスーパービジョン・メンターの育成に取り組んできました。

シンポジウムでは、本学会のSV養成訓練の基礎となるスーパービジョン・モデルの本質と構造を紹介した後に、スーパーバイザー訓練生、認定スーパーバイザー、スーパービジョン・メンターの3人に、自らの体験を通してスーパービジョンの真髄と魅力を率直に語っていただき、本学会のSV養成訓練の成果と課題を踏まえて、今後の展望について議論したいと考えています

キャリア・カウンセリングの実践者の発達と自律を促進するために最も効果的な方法がスーパービジョンです。「スーパービジョンをもっと身近に—スーパービジョン、さあ行こう！」を合言葉に、スーパービジョンの普及と本学会のSV養成訓練に取り組めます。

#### 【シンポジスト】

星野 宏 (ほしの・ひろし)

<プロフィール>

キャリアサポートオフィス process 代表

1981年三重県出身。1級キャリアコンサルティング技能士、公認心理師。

メーカーでの生産管理・物流管理を経て人事に転職。2012年に独立後、キャリアコンサルタントとして教育機関を中心に活動。現在は、高等学校での専属キャリアコンサルタント、大学ではキャリア系科目非常勤講師や、地域連携コーディネーターとして、法人や自治体と協働した地域課題を解決するインターンシップの企画運営等に携わっている。日本キャリア・カウンセリング学会SV養成講座第8期を修了。現在は、認定スーパーバイザーに向けてメンタリング制度で研鑽を積んでいる。



棟居 秀信 (むねすえ・ひでのぶ)

<プロフィール>

一般社団法人カウンセリング・レビュー・ラボ 代表理事

福岡市就労支援等事業 ※契約スーパーバイザー。パナソニックEW創研(株) 席講師。

大学卒業後、松下電工(株)(現パナソニック(株))に入社。平成22年11月57歳で同社を早期退職。平成23年1月より福岡市就労支援事業(生活保護受給者対象のキャリア・カウンセリング)に就労カウンセラーとして従事、平成31年3月定年退職。この間、日本キャリア・カウンセリング学会主催、スーパーバイザー養成講座(第4期)を受講のち、令和3年6月学会認定スーパーバイザー取得。同年10月から福岡市就労支援事業スーパーバイザー。学習経歴 産業カウンセラー、1級キャリアコンサルティング技能士、同学会メンター訓練候補生研修受講中。



濱田 多美代 (はまだ・たみよ)

<プロフィール>

たみこころの相談室 代表

「たみこころの相談室」主宰のかたわら、自治体健康相談室及び医療保健センターのカウンセラーとして勤務。学会スーパーバイザー養成講座メンター及び協会スーパーバイザーとして担当。特に現場で働く人の支援のカウンセラー・キャリアコンサルタントのカウンセリング及びスーパービジョン多数担当。

カウンセラー・講師歴 35 年。スーパーバイザー歴 15 年。

(一社) 日本産業カウンセラー養成講座指導歴 30 年、シニア育成講座講師歴 10 数年。

(一社) 日本キャリア・カウンセリング学会、認定スーパーバイザー及びスーパービジョンメンター

旧労働省認定中級産業カウンセラー (現シニア産業カウンセラー)

産業カウンセラー・スーパーバイザー

(一社) 日本産業カウンセラー協会 元副会長。同協会関西支部、元支部長

実践『職場で使えるカウンセリング』誠信書房 第 6 章 II 執筆

### 【コーディネーター】

三川 俊樹 (みかわ・としき)

<プロフィール>

追手門学院大学心理学部教授

1986 年 3 月大阪大学人間科学研究科博士前期課程修了 (学術修士)。1987 年 4 月追手門学院大学文学部助手。講師、助教授を経て、2004 年 4 月人間学部教授、2006 年 4 月心理学部教授、現在に至る。専攻はカウンセリング心理学。2009 年から日本産業カウンセリング学会のスーパーバイザー養成に取り組み、スーパーバイザーおよびスーパーバイザーの指導者 (スーパービジョンメンター) の訓練に携わってきた。現在は日本キャリア・カウンセリング学会 S V 委員長としてその役割を担っている。論文に「スーパービジョンとメンタリングの構造に関する一考察 (1)・(2)」(追手門学院大学心理学部紀要, 第 15・16 巻) などがある。2020 年度には、厚生労働省の委託事業「キャリアコンサルタントの資質の向上に資する環境整備に関する調査研究」において、キャリアコンサルティングにおけるスーパービジョンについて提言を行った。

MEMO

## 大会企画シンポジウムⅣ

●11月6日(日) 大会2日目 15:45~17:15

### 人的資本経営に活かすキャリア・カウンセリング

#### —健康経営、ダイバーシティ、従業員エンゲージメントの視点から

(敬称略、順不同)

シンポジスト	松本 桂樹	株式会社ジャパンEAPシステムズ 取締役
	安達 智子	大阪教育大学教授
	山本 寛	青山学院大学教授
指定討論者	石山 恒貴	法政大学教授
司 会	古田 克利	立命館大学准教授

#### 【企画主旨】

人的資本経営とは、人材を「コスト」ではなく「資本」として捉え、その価値を最大限に引き出し企業価値向上につなげる経営のあり方です。デジタル化の進展による社会構造の変化、それに伴う個人のキャリア観の変化など、企業を取り巻く環境は大きく変化しています。企業が事業環境の変化に対応しながら、持続的に企業価値を高めていくためには、経営戦略と適切な人材戦略が重要となります。このシンポジウムでは、人的資本経営の中でも近年注目を集める「健康経営」「ダイバーシティ」「従業員エンゲージメント」の視点から、最新の学術的知見と実践事例を3名の専門家からお話を頂きます。その後、指定討論者とのディスカッションを通じて議論を深めたいと思います。

#### 【シンポジスト】

松本 桂樹 (まつもと・けいき)

<プロフィール>

株式会社ジャパンEAPシステムズ 取締役

東京学芸大学大学院修了。都内の精神科クリニックにて常勤の心理職として勤務した後、日本初のEAP専門会社であるジャパンEAPシステムズの起ち上げに関わる。日本におけるEAPのパイオニアであり、現在も主に勤労者の相談を数多く受けている。

臨床心理士・1級キャリアコンサルティング技能士・健康経営エキスパートアドバイザーの資格を有し、神奈川大学人間科学部特任教授。主な著書に「部下が病気になるにできる上司の技術」(WAVE出版)、「上司と部下のメンタルヘルス・マネジメント対策」(税務研究会)等がある。

安達 智子 (あだち・ともこ)

<プロフィール>

大阪教育大学教授

早稲田大学教育学研究科博士後期課程修了(博士(教育学))

心理学をベースとして、キャリア選択のための支援ツールの開発、自己効力に着目した支援と介入、ジェンダーにとらわれない生き方/働き方の見つけ方、ステレオタイプの形成とその作用などを主たる研究領域としている。最近では、「空気をヨム」ことの功罪についても関心をもち研究を行っている。

主な著書:『自分と社会からキャリアを考える』(単著)、『キャリア・コンストラクションワークブック』(共編著)

山本 寛 (やまもと・ひろし)

<プロフィール>

青山学院大学経営学部教授

人的資源管理論・キャリアデザイン論担当。博士(経営学)。メルボルン大学客員研究員歴任。働く人のキャリアとそれに関わる組織のマネジメントが専門。

著書(単著)として、『連鎖退職』、『なぜ、御社は若手が辞めるのか』、『「中だるみ社員」の罫』(以上日経 BP 社)、『人材定着のマネジメント』(中央経済社)、『自分のキャリアを磨く方法』、『転職とキャリアの研究 [改訂版]』、『働く人のためのエンプロイアビリティ』、『昇進の研究 [増補改訂版]』(以上創成社)がある。著書(編著)として『働く人のキャリアの停滞』(創成社)がある。研究室ホームページ <http://yamamoto-lab.jp/>

## 【指定討論者】

石山 恒貴 (いしやま・のぶたか)

<プロフィール>

法政大学大学院政策創造研究科教授

博士(政策学)。NEC、GE、米系ライフサイエンス会社を経て、現職。越境的学習、キャリア形成、人的資源管理、タレントマネジメント等が研究領域。日本労務学会副会長、人材育成学会常任理事、産業・組織心理学会理事、人事実践科学会議共同代表、フリーランス協会アドバイザーボード、専門社会調査士等。

主な著書：『越境学習入門』(共著)、『日本企業のタレントマネジメント』、『地域とゆるくつながろう!』(編著)、『越境的学習のメカニズム』

主な論文：Role of knowledge brokers in communities of practice in Japan, Journal of Knowledge Management, Vol.20, No.6, 2016.

主な受賞：経営行動科学学会優秀研究賞 (JAAS アワード) (2020)、人材育成学会論文賞 (2018) 等



## 【司会】

古田 克利 (ふるた・かつとし)

<プロフィール>

立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科准教授。

大学卒業後、富士通株式会社に入社。その後、株式会社松下情報システムテクノロジー(現 パナソニックシステムデザイン株式会社)にて、システムエンジニア、経営企画課長、人事課長。2011年より関西外国語大学特任講師、2016年 同専任講師、2018年 同准教授。2020年より現職。博士(技術・革新的経営)。日本キャリア・カウンセリング学会副会長、経営行動科学学会理事、同志社大学 STEM 人材研究センター研究員等を兼任。主な著書：『キャリアデザイン入門』『IT 技術者の能力限界の研究』他。



## クロストーク

●11月6日(日) 10:00~11:30

今改めて問う日本のカウンセリング—多文化的視点から考えてみた—

日本キャリア・カウンセリング学会 国際交流委員会

(敬称略、順不同)

シンポジスト	三好 真	大妻女子大学人間関係学部人間関係学科 講師
	三宅 麻未	博士(商学)一般社団法人 O・ERS 研究所 首席研究員/理事
	新免(三浦) 玲	法政大学グローバル教養学部オフィスマネージャー
	浅野 衣子	株式会社キャリア開発サポーターズ代表取締役
	国重 浩一	NPACC NZ Limited ディレクター

### 【企画主旨】

国際交流委員会は、他文化で勉強したり、生活したことのあるメンバーが集まっています。各自、それぞれの経験から、カウンセリングをめぐってさまざまに語り合っていきます。カウンセリングとは、人々のニーズに合わせながら、その場その場でそのあり方を合わせていく必要があるものです。一方で、そのあり方は、日本という文化や歴史的背景などによって、大きな影響を受けています。国際交流委員会によるクロストークを通じて、カウンセリングのあり方の幅を広げることには貢献できればと願っているところです。

本クロストークは、事前に録画したものを90分間に編集したものをオンデマンドでご覧いただけます。さらに、90分に収まらなかったところは付録として添付いたしました。興味がある方は、こちらもごらんください。

### 【クロストーク参加者】

三好 真 (みよし・まこと)

<プロフィール>

大妻女子大学人間関係学部人間関係学科 講師

全米認定カウンセラー (National Certified Counselor)

米国南イリノイ大学でカウンセラー教育・スーパービジョン学の博士号を取得。在米中、同大学院において、グループワークの概論・実習のインストラクター及びスーパーバイザーとして勤務。帰国後は、スーパービジョン、キャリア教育、臨床心理現場において、グループ・ワークを応用する手法を用いている。



三宅 麻未 (みやけ・まみ)

<プロフィール>

博士(商学)一般社団法人 O・ERS 研究所 首席研究員/理事

大手前大学 現代社会学部 非常勤講師

国家資格キャリアコンサルタント、米国 CCE Inc. 認定 GCDF-Japan キャリアカウンセラー  
慶応義塾大学卒業後、国内化粧品メーカーのマーケティングを務める。米国 Hult International Business School, M.B.A. 修了後は外資家電メーカーのブランディングマネージャーや地方創生プロジェクトなど約10年にわたり「社会への価値提供」をテーマに多彩な経験を積む。様々な経験の中で、人がイキイキと働ける組織の在り方に関心を持ち始め、30代半ばで会社勤めから心機一転、キャリア開発を専門に研究者の道へ進む。博士(商学)取得後は大学にて経営学の教鞭を執るかたわら、キャリアコンサルタントの国家資格を活用し幅広い世代の相談に応じている。



### 新免(三浦) 玲 (しんめん(みうら)・れい)

<プロフィール>



国家資格キャリアコンサルタント・公認心理師、教育工学(修士)、法政大学グローバル教養学部オフィスマネージャー、熊本大学教授システム学研究センター&青山学院 Hicon 研究センター研究員、Earth Career Lab.代表、eLP ラーニングデザイナー&マネージャー、当学会ブランディング委員兼務

アメリカの州立大学卒業後より学生や社会人の雇用支援業務に従事。学校や企業向け教育企画、就転職希望者と企業人事に対する雇用コンサルティング経験を経て、高校生などの若年層の(再)就職支援事業の講師・カウンセラー。大学キャリアセンターでは、留学生含む学生向け就職キャリア支援行事の企画実施、バイリンガルカウンセリングの実施。現在は、複数の大学や附属機関、企業等において外部講師やコンサルタントを務める傍らキャリア教育プログラム開発研究に取り組んでいる。

### 浅野 衣子 (あさの・きぬこ)

<プロフィール>



株式会社キャリア開発サポーターズ代表取締役

キャリア開発カウンセラー (JICD・キャリア開発研究センター認定)、キャリアコンサルタント、認定スーパーバイザー (日本キャリア・カウンセリング学会認定)、ナラティブ実践協働研究センター スターティングメンバー、地域若者サポートステーション事業専門委員会メンバー

同志社女子大学卒業後、阪急百貨店にて販売・仕入れ担当を経て、従業員の能力開発、顧客満足推進に従事。2001年独立。キャリア開発支援の実務家として、企業の従業員を対象にキャリア開発ワークショップ CDW やキャリア・カウンセリングを実施。学生から中高年齢者のキャリア・カウンセリングに従事。キャリア支援(キャリア・カウンセリング)をする人たちの支援として、スーパービジョンを実施、地方からでもスーパービジョンが受けられるように2017年からオンラインでのスーパービジョンを実施している。

### 国重 浩一 (くにしげ・こういち)

<プロフィール>



NPACC NZ Limited ディレクター、ナラティブ実践協働研究センター所属、ダイバーシティ・カウンセリング・ニュージーランド所属

ニュージーランド、ワイカト大学カウンセリング大学院修了。日本臨床心理士、ニュージーランド、カウンセラー協会員。

1964年、東京都墨田区生まれ。ニュージーランド、ワイカト大学カウンセリング大学院修了。日本臨床心理士、ニュージーランド、カウンセラー協会員。鹿児島県スクールカウンセラー、東日本大震災時の宮城県緊急派遣カウンセラーなどを経て、2013年からニュージーランドに在住。同年に移民や難民に対する心理援助を提供するための現地 NPO 法人ダイバーシティ・カウンセリング・ニュージーランドを立ち上げる。2019年には東京に一般社団法人ナラティブ実践協働研究センターの立ち上げに参加。2019年から日本産業カウンセリング学会の理事、2021年から日本キャリア・カウンセリング学会の理事となり、国際交流委員会に所属。

各賞表彰式

---

●11月5日(土)大会初日 14:45~15:15



—— 学 会 賞 ——

下村 英雄 殿

—— 学 術 賞 ——

該当者なし

—— 学 会 功 勞 賞 ——

小倉 浩靖 殿

---

第26回大会 個人研究・事例発表	奨励賞	鈴木 潤也 殿
		酒井 真依子 殿
		麻生 倫世 殿
		阿部 香織 殿

---

同	奨励賞	浅野 浩美 殿
---	-----	---------

---





——— 昨年度学会賞受賞講演 ———

小澤 康司 殿  
(立正大学 心理学部 教授)

「日本におけるキャリア・カウンセリングの発展を期待して」

——— 昨年度学術賞受賞講演 ———

原 恵子 殿  
(筑波大学 働く人への心理支援開発研究センター 准教授)

「働くひとの職業的発達  
—企業別労働組合における役員経験を通じた検討から—」



## オンライン交流会・研究相談サロン

---

11月5日（土）大会初日 17:25～19:00

### ●オンライン交流会

オンライン交流会では、ブレイクアウトルームをリアルな懇親会のテーブルに見立て、参加者同士が自由な形でご歓談を楽しんでいただけるよう、工夫しております。

カウンセリングに関する様々なテーマで語りあうルーム、地域活性化委員会主催のルーム、気楽に当日のご感想や雑談を楽しんで頂いたり新たな繋がりを作って頂いたりするルームなどをご準備する予定です。途中参加、途中退室でも、問題ありません。

学びを深めて頂くことも、語らいを楽しんで頂くことも、一つのルームでじっくりと過ごすことも、あるいは複数のルームを渡り歩くことも、自由に選んで頂くことができます。交流・語らい・憩いをお楽しみください。

### ●研究相談サロン（無料）

研究に興味はあるがやり方がわからない、既に研究を始めているが困っている、大会発表や投稿の準備をしたいなど、研究に関して気楽に相談できる場です。

対 象	大会参加者（非会員でも OK です）
参加方法	予約不要・指定 URL からお入りください（オンライン交流会とは別です、出入り自由）
実施方法	本学会の研究委員と一対一で相談ができます（概ね 20 分程度）

**研究発表・実践報告・学位研究発表**

※ “○”は主たる発表者

座長：古田 克利 11月6日(日) 12:15～13:45

<b>R01</b>	① 研究発表 12:15-12:45 <b>コロナ禍における相談ニーズの規定因—相談経験のない就労者を対象とした検討—</b> ○黒沢 拓夢(東京大学大学院)・下村 英雄
	② 研究発表 12:45-13:15 <b>職業選択指向性と入社後の職務満足感との関連</b> ○赤城 知里(東京成徳大学)・井上 忠典
	③ 研究発表(動画) 13:15-13:45 <b>“キャリア教育に活用できる性格特性的強み尺度”を用いた就職活動支援プログラムが就職活動不安に与える効果</b> ○高橋 誠(人間環境大学)・森本 哲介

座長：堀内 泰利 11月6日(日) 12:15～13:45

<b>R02</b>	① 研究発表 12:15-12:45 <b>高齢者のキャリア形成に関する調査研究から～生涯キャリア形成の支援について考える～</b> ○五十嵐 敦(福島大学)
	② 学位研究発表 12:45-13:15 <b>役職定年はキャリアの中でどのような意味を持つのか</b> ○新井 香子(駒沢女子大学兼任講師)・本多ハワード 素子
	③ 研究発表(動画) 13:15-13:45 <b>職場における孤立・孤独感を測定する尺度の開発とその妥当性の検討— 職場における孤立・孤独化過程の検討(5)—</b> ○松尾 藍(北陸学院大学)・桃谷 裕子・松井 豊・尾野 裕美・関谷 大輝・中村 准子

座長：原 恵子 11月6日(日) 12:15～13:45

<b>R03</b>	① 研究発表 12:15-12:45 <b>求職者を対象とした教育プログラムの受講効果に関する検討 —大学におけるリカレント教育を通じた検討(1)—</b> ○中村 准子(筑波大学働く人への心理支援開発研究センター)・三好きよみ・廣田 奈穂美・原 恵子・大川 一郎・浦山 昌志・鈴木 伸学・岡田 昌毅
	② 研究発表 12:45-13:15 <b>求職者を対象としたキャリア支援に関する探索的検討—大学におけるリカレント教育を通じた検討(2)—</b> ○原 恵子(筑波大学働く人への心理支援開発研究センター)・廣田 奈穂美・大川 一郎・岡田 昌毅
	③ 研究発表(動画) 13:15-13:45 <b>Emotional Intelligence Quotient の行動特性に関する構造の検討</b> ○永野 惣一(筑波大学)・松井 豊・原 恵子・加来 司・酒井 章・中村 准子・岡田 昌毅

座長：山本 和美 11月6日(日) 14:00～15:30

R04	① 研究発表 14:00-14:30 中学校キャリア教育実践における生徒の自己内探索の発現について—20 答法を用いて— ○前田 解子 (大手前大学 現代社会学部)・原恵子
	② 研究発表 14:30-15:00 大学生の消費者教育経験と大学の消費者教育に必要な内容～問題の把握および基礎的調査 ○渡部 昌平 (秋田県立大学)
	③ 学位研究発表 (動画) 15:00-15:30 大学生のキャリア探索とレジリエンス ○湯口 恭子 (近畿大学 働き方改革推進センター)

座長：三好 真 11月6日(日) 14:00～15:30

R05	① 実践報告 14:00-14:30 実践を通じたキャリア支援者の成長～複合的就労支援プロジェクトを通じて～ ○長谷川 能扶子 (有限会社 C マインド)
	② 研究発表 14:30-15:00 企業領域におけるキャリアコンサルティングの役割および機能についての一考察 ○浅野 浩美 (事業創造大学院大学)
	③ 研究発表 (動画) 15:00-15:30 産業領域のメンタルヘルス対策として問題の「外在化」を取り入れた研修プログラムの活用 ○藤森 圭子 (龍谷大学大学院文学研究科博士後期課程)

座長：中村 准子 11月6日(日) 14:00～15:30

R06	① 実践報告 14:00-14:30 企業領域のキャリア支援における相談者へのかかわりや問いかけに関する探索的検討 ○須藤 章 (筑波大学)・中村 准子・原 恵子・松井 豊・岡田 昌毅
	② 研究発表 14:30-15:00 企業の人事担当者が捉えた職場の孤立・孤独の原因—職場における孤立・孤独化過程の検討(9)— ○森 理宇子 (共立女子大学)・太田 彩子・中村 准子・原 恵子・岡田 昌毅・松井 豊
	③ 研究発表 (動画) 15:00-15:30 職場の孤立・孤独感と離転職意思, キャリア焦燥感との関連—職場における孤立・孤独化過程の検討 (6) — ○尾野 裕美 (明星大学心理学部)・関谷 大輝・松尾 藍・桃谷 裕子・松井 豊・中村 准子

R07	① 学位研究発表 14:00-14:30 メンタリング関係の種類と支援傾向—メンターに関する時系列の語りから— ○杉沢 有梨
	② 研究発表 14:30-15:00 ロールプレイングによるキャリアコンサルタント教育モデルの研究—アンラーニングの指導プロセスと教育効果に着目して— ○相澤 秀一（法政大学大学院キャリアデザイン学研究科）
	③ 研究発表（動画） 15:00-15:30 若年就業者の自発的な援助要請プロセスの検討 ○道谷 里英（順天堂大学）

MEMO

S01

大学の発達障害学生支援における具体的方策と連携の検討

11/6(日) 12:15 - 13:45

企画：山本 和美（山梨大学キャリアセンター）

労働政策研究・研修機構（2018）の調査では、キャリアコンサルタントが受け持つ「難しい相談」は、発達障害やメンタルヘルス不調を抱える相談者の相談とされているように、多くのキャリアコンサルタントにとっては、近年増加傾向にある発達障害に対する情報不足から、その専門性を発揮するどころか「どう関わるべきか」に不安を抱えている状況がある。そのため、本シンポジウムでは、大きく2部構成とする。（1）発達障害学生支援に関わる様々な立場の専門家から、発達障害とは／支援のポイントとともに、就労移行支援事業所など民間の社会資源が乏しい地方での現状を知る。（2）キャリアコンサルタントの「実際の場面での困りごと」に対し、シンポジストそれぞれの立場から答えていただくことで、具体的な支援方法を学ぶ。

●企画者：山本 和美（山梨大学キャリアセンター特任教授）

埼玉大学教育学研究科修了（教育学修士）。2級キャリアコンサルティング技能士。高校生から社会人向けのキャリアカウンセリングおよびキャリアデザイン講師のほか、学校コンサルテーション、企業向け社員研修と、幅広い層のカウンセリングおよびコンサルティングに尽力してきた。主な研究テーマは、発達障害傾向（グレーゾーン）の大学生へのキャリアコンサルタントの関わりについて。

●シンポジスト：小畑 文也（山梨大学教授 学生サポートセンター センター長）

筑波大学大学院博士課程心身障害学研究科修了，その後，上越教育大学，筑波大学に勤務し現職。文科省センター入試配慮事項検討委員会委員を務める。顕著な知的障害を持たない身体障害，精神障害者の修学・就労支援に取り組んでいる。

●シンポジスト：佐藤 哲也（山梨大学・工学部先端材料理工学科准教授）

東京農工大学工学研究科修了（博士（工学））。研究の専門分野は物理化学や応用物理学。大学入学から卒業まで4年間修学指導を行うクラス担任を約30年間で計3回担当した。R3-4年度は学科の教育主任を務めている。発達障害者が大学入学後，速やかに支援を受けられる仕組みづくりの必要性を痛感している。

●シンポジスト：古野 素子（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 山梨障害者職業センター主任障害者職業カウンセラー）

京都府立大学大学院卒業後，2001年4月～日本障害者雇用促進協会（現：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構）に障害者職業カウンセラーとして入職。以後，全国7ヶ所の障害者職業センターにおいて，職業相談・職業評価，職業準備支援，ジョブコーチ支援，リワーク支援，事業主支援，就労支援を行う関係機関への助言，研修等を担当。その他4年間機構本部にて発達障害者の就労支援に係る支援技法開発に携わる。

●シンポジスト：小牧 舞（山梨大学キャリアアドバイザー）

同志社女子大学現代社会学部社会システム学科卒業。2級キャリアコンサルティング技能士。人材総合サービス会社に入社し，大手企業や官公庁等への人材コンサルティング営業や，山梨県からの就職支援委託事業にて，社会人向けのキャリアカウンセリングや研修運営等に従事してきた。現在は，大学キャリアセンターにて，学生向けのキャリア相談や就活ワークショップの企画運営等に尽力している。

MEMO

S02

キャリアコンサルタントと自殺予防  
～101名のアンケート調査結果から見てきたことと今後の展望～

11/6(日) 12:15 - 13:45

企画：田村 三太（一般社団法人 MHC リサーチ&コンサルティング 代表理事）

我が国の自殺率は G7 の中で第一位であり深刻な状態が続いている。政府が発表している自殺総合対策大綱において「自殺対策に係る人材の確保、養成及び資質の向上を図る」ことが掲げられている。一般財団法人 ACCN テーブルNo.17「自殺対策委員会」では、自殺予防に関する効果的な人材育成や支援者支援をはじめ、更なる自殺対策の推進のための資料とすることを目的に、「現場で活動するキャリアコンサルタントの自殺予防活動」についてアンケート調査を行った。調査結果の発表を行い、シンポジスト、参加者とともに、支援者としての今後の展望について意見交換ができる機会にしたい。

●企画者：田村 三太（一般社団法人 MHC リサーチ&コンサルティング 代表理事）

国際 EAP コンサルタント・精神保健福祉士・キャリアコンサルタント

(一社)MHC リサーチ&コンサルティング代表理事

(一社)職場のメンタルヘルス支援委員会理事

(一財)ACCN 自殺対策委員会代表

(一社)東京精神保健福祉士協会自殺対策委員会研修委員

東京都立中部総合精神保健福祉センターリワークプログラム講師

●シンポジスト：小倉 泰憲（山形大学理学部）

山形大学理学部 教授

特定非営利活動法人 日本キャリア・カウンセリング研究会理事

1級キャリアコンサルティング技能士・カウンセリング心理士

修士（カウンセリング）（筑波大学）、工学博士（東北大学）

技術者として企業で 22 年半勤務。

現在は大学でキャリア教育の担当と学生や教員の相談対応をしている。

●シンポジスト：三反畑 尚代（労働局）

精神保健福祉士・キャリアコンサルタント技能士 2 級・産業カウンセラー・年金アドバイザー 3 級

職業相談員、男女共同参画室相談員を経て、千葉労働局にて、就職支援コーディネーター 2 年経験ののち、現在、精神障害者雇用トータルサポーターとして、精神障害者の方の個別支援をしている。

●シンポジスト：中山 敬介（一般財団法人 ACCN 理事）

長年、大手百貨店の人事部に所属し、人事・労務管理に携わる。2000 年以降は、主に社員の自律型キャリア開発・キャリア形成支援に向けて、キャリア面談制度、キャリア開発研修制度の企画・設計から運用までを担当。また、キャリアコンサルティングの社会的普及・発展を目指し、旧キャリアコンサルティング技能士会代表幹事を務め、2018 年 10 月の ACCN 設立時から ACCN 理事・倫理委員会委員長を務め現在に至る。1 級キャリアコンサルティング技能士(国家資格)。近畿大学経営学部キャリアマネジメント学科非常勤講師。2023 年度より大手前大学社会学部非常勤講師。

●シンポジスト：峯 志織（おとな塾）

1 級キャリアコンサルティング技能士

保険会社のプレイングマネージャーとして、職員のメンタル管理や個別研修をしていた。その後は、人材会社や公共事業で就労支援と定着支援をしていた。現在は、大阪の天王寺でおとな塾という相談室をしている。障がい手帳をお持ちのかたや非行少年の支援もしている。

MEMO

S03

定年延長に伴う、大企業の 50 代の意識と課題、「人生のリ・デザイン」へ

11/6(日) 12:15 - 13:45

企画：廣川 進（法政大学キャリアデザイン学部）

「高年齢者雇用安定法」により 2025 年から 65 歳までの雇用確保が義務づけられた。人件費確保等の理由で給与が下がり、役職定年、出向、転籍、リストラ等々定年までの 10 数年、受難に晒され続ける 50 代。急にこれからは「ジョブ型雇用」、「キャリア自律」だ、と言われても、多くの 50 代は当惑、不安、不信に包まれている。給与、肩書など多くのダウンサイジングと喪失感を受け入れつつ、再生は可能なのか。ヒントは現状を受容できる「適応的諦念」、組織から求められる「スキルの学び直し（リスキリング）」、「キャリア・サバイバル」。さらに、「ライフ全体の統合的観点」による新たな「意味の獲得」へ。自己、家族、地域などとの関係のつなぎ直し、「リ・デザイン」のきっかけや出会いはどのようにしたら生まれるのか。企業現場でこの問題に取り組んできたシンポジストと一緒に考えます。

●シンポジスト：淡路 なな恵（明治安田生命保険相互会社 ダイバーシティ推進室長）

●シンポジスト：加藤 昌広（一般社団法人育児キャリアアップ推進機構 専務理事（株）レイズシード専務取締役 保育園施設長 元労働新聞社代表取締役）

●シンポジスト：長久保 逸郎（特定非営利活動法人 ソサエティ・オブ・キャリアコンサルタント 理事（株）近鉄エクスプレス コーポレート・ヒューマンリソース部ダイバーシティ推進ユニット シニアマスター）

●司会：廣川 進（法政大学キャリアデザイン学部）

MEMO

**S04****システムティック・アプローチを再考する**

11/6(日) 14:00 – 15:30

企画者：野条 美貴（目黒駅前メンタルクリニック）

キャリア相談の代表的なアプローチに、システムティック・アプローチがあります。システムティック・アプローチには「問題把握」「目標設定」「方策の実行」「結果の評価」などのプロセスがあり、キャリアコンサルティング技能士の評価区分でも、このアプローチに準拠した基準が示されています。問題把握には「主訴の把握」と「カウンセラーによる見立て」がありますが、養成やSVに関わっていると、システムティック・アプローチを「嫌なことを言っても平気な関係を築くこと」「相談者が気づいていない問題に気づき指摘すること」と捉えている人が多い印象です。本シンポでは、「見立て」とは何をどのように見立てることなのかを中心に、システムティック・アプローチについて再考したいと思います。

## ●モデレーター：松本 桂樹（株式会社ジャパンEAPシステムズ）

東京学芸大学大学院教育学研究科修了。精神科クリニックで心理職として勤務した後、株式会社ジャパンEAPシステムズへ転籍。25年以上にわたり、働く人の相談を受けている。臨床心理士、1級キャリアコンサルティング技能士、精神保健福祉士の資格を有し、神奈川大学人間科学部特任教授も務める。

## ●シンポジスト：石崎 一記（東京成徳大学応用心理学部 教授）

筑波大学大学院博士課程心理学研究科単位取得退学。発達心理学、環境教育学、カウンセリング心理学、キャリアコンサルティング。厚生労働省キャリアコンサルタント登録制度等に関する検討会委員他。1級キャリアコンサルティング技能士。

## ●シンポジスト：田中 稔哉（株式会社日本マンパワー 代表取締役会長）

青山学院大学文学部教育学科卒業、現在社会構想報大学院大学実務教育研究科2年。企業の人事、人事コンサル等を経て、2000年よりキャリアカウンセラー養成と公的施設における就業支援に従事。最近では事例検討、スーパービジョンを担当。公認心理師、精神保健福祉士、1級キャリアコンサルティング技能士、CDAインストラクター。

## ●シンポジスト：住田 淳子（一般社団法人リファイン就労支援センター）

短大卒業後、住設機器メーカーに就職。営業マン育成に携わったことから人材サービス会社に転職。人と仕事をつなぐことを11年経験したのちフリーランスへ。現在は精神障がい者の復職・転職の支援をメインとして企業研修や電話相談など実施。2級キャリアコンサルティング技能士、CCA認定スーパーバイザー。

## ●シンポジスト：野条 美貴（目黒駅前メンタルクリニック）

法政大学大学院キャリアデザイン学研究科修了。企業の人事採用担当としての経験を活かし、ハローワーク等で職業相談業務に従事。その後、在職者、退職者、求職者、大学生のキャリア支援及びキャリアデザインの授業を担当。公認心理師、1級キャリアコンサルティング技能士。

MEMO

11/6(日) 14:00 - 15:30

企画：松為 信雄（神奈川県立保健福祉大学 名誉教授）

障害のある人を含む「生活のしづらさ」を抱えている人への雇用支援の活動は、1990年代後半からキャリア支援を基軸とした知識と技術を背景に展開されてきている。それは同時に、キャリアカウンセリングと一体不可分の関係にある。本シンポジウムは、「職業リハビリテーション」分野におけるキャリア視点の重要性を指摘するとともに、これを踏まえた就労支援人材の育成のあり方について論議を深める。

●企画者：松為 信雄（神奈川県立保健福祉大学 名誉教授）

職業研究所(現 労働政策研究・研修機構)、障害者職業総合センターを経て、東京福祉大学、神奈川県立保健福祉大学、文京学院大学、東京通信大学教授を歴任。日本職業リハビリテーションカウンセリング協会代表理事。専門は、職業リハビリテーション(カウンセリング)、キャリア発達論。主著に「キャリア支援に基づく職業リハビリテーションカウンセリング-理論と実際-」(ジアース教育新社)。

●話題提供者：湯田 麻子 ((財)メンタルケア協会 精神対話士)

「生きる支援強化月間」に精神対話士による「ほっ!と相談」を地域開催(厚労省、文科省、神奈川県、藤沢市の後援)。高齢・障害・求職者雇用支援機構リワークカウンセラー。精神疾患で休職した従業員の職場復帰に向けて、職場、産業保健、人事総務等をコーディネート。公認心理師。

●話題提供者：村松 昭子（就労移行支援事業所 就労支援員）

2008年より障がい者雇用に携わる。前職では自社に雇用する障がいのある方たちの採用や職場定着、チャレンジドチームの設立・運営に従事。2020年より現職。所内プログラム講師（就活基礎・就活応用）、応募書類の作成・面接対策などを担当。国家資格キャリアコンサルタント、臨床心理士。

●話題提供者：宇野 京子（岡山公共職業安定所 精神障害者雇用トータルサポーター）

内閣府バリアフリー化推進功労者表彰・特命担当大臣賞受賞。全国障害者技能競技大会岡山大会審査員。精神障害者の等級・疾患と就業状況との関連に関する調査研究委員。障害者政策総合研究事業『就労アセスメントの実施促進に向けた多機関連携による就労支援モデル整備のための調査研究へ寄稿。』

●指定討論者：下村 英雄（労働政策研究・研修機構 副統括研究員）

主著に『社会正義のキャリア支援-個人の支援から個を取り巻く社会に広がる支援へ』（図書文化社）、『ヘルピング・スキル第2版-探求・洞察・行動のためのこころの援助法』（金子書房）など。国家資格キャリアコンサルタント、1級キャリアコンサルティング技能士。

MEMO

S06

育児女性のキャリアに立ちほだかるメンタル問題

11/6(日) 14:00 – 15:30

企画者：坂東 愛子(一般社団法人育児キャリアアップ推進機構 代表理事 保育園フォレスト・志村三丁目 理事長)

育児女性が仕事復帰をする際に時間的に制約がありますが、それよりも一番問題なのがメンタルヘルスです。これまで多くの職場復帰した育児女性をサポートしてきて、上記問題について取り組んできた一般社団法人育児キャリアアップ推進機構がキャリアコンサルタントはどんなケアや支援が可能かについて、シンポジストの育児女性たちと議論していきます。

●企画者:坂東 愛子(一般社団法人育児キャリアアップ推進機構 代表理事)

前橋工科大学卒業、NTTDoCoMo の関連会社にて SE としてキャリアを積む。都内で育児女性社会復帰支援の任意団体を設立し、後、保育園フォレスト・志村三丁目を開園する。現在は、保育園経営とともに、一般社団法人育児キャリアアップ推進機構を設立し、育児女性の社会復帰支援と仕事両立支援を行っている。

●シンポジスト:廣川 進(法政大学キャリアデザイン学部教授)

日本キャリア・カウンセリング学会会長

●シンポジスト:山口 寛子(育児女性団体ママ・スマイル副代表)

ママ・スマイル副代表として、育児女性のメンタルケアに力を入れている。今回、育児女性の代表する立場として、現在の育児女性が抱えている悩みなどを述べる。

●シンポジスト:宮越 裕子(保育園フォレスト・志村三丁目 人事労務担当)

保育園で人事労務を担当する傍ら、保育士(育児女性が多い)の仕事に対する悩み相談などに努めている。

●シンポジスト:加藤 昌広(育児キャリアアップ推進機構専務理事)

南山大学法学部を卒業後、株式会社中日新聞社に入社。販売局に配属。その後、厚労省関連の媒体である株式会社労働新聞社に勤務。名古屋で営業、東京で記者として従事。取締役企画局長を経て、代表取締役を務める。退任後、坂東代表とともに現社団法人を立ち上げる。20,000 社におよぶ企業を訪問した人事・労務のスペシャリスト。自治体や大学でのキャリアデザインについての講演歴や、就活に関する著書を出版している。

MEMO



**1 目的**

本学会は、キャリア・カウンセリングを「人間尊重を基本理念として、働く人が心身ともに健康で、それぞれの個性と役割が十分に発揮されるよう支援するカウンセリング活動の総称である。学術研究と現場実践に基づき、個人・集団はもとより組織に対して提供され、それらの成長・発達と共生関係の実現、ひいては幸福かつ持続可能な社会の創造に寄与する専門的過程である。」と定義し、キャリア・カウンセリングの研究、調査及び自らの資質向上のための各種事業を行うことを目的とする。

定款：第2条

**2 ありたい姿**

キャリア・カウンセリングに関する研究者、実践者等の自由な交流と対話の場を保障するキャリア・カウンセリングに関する研究者、実践者等の学習と成長の機会を創造するキャリア・カウンセリングに関する研究と実践活動等の成果を社会へ発信するこれらの活動を通じて幸福かつ持続可能な社会づくりに貢献する

**ありたい姿の説明**

私たちは、キャリアをワークやライフも含む広い概念として捉え、キャリア・カウンセリングをキャリア形成支援やメンタルヘルスケアも含むものと捉えています。支援領域は、産業領域はもちろんのこと、教育領域、福祉領域、医療領域、司法領域等も含みます。支援対象は、企業人に限らず、アンパイドワーク（家事、育児、介護等）の従事者、ボランティア、学生、シニア等の個人、および、グループ、チーム、コミュニティ等の組織も含みます。関係団体、地域、国家等の枠を超えて、自由闊達でフラットに交流と対話することを相互に保障します。そして、科学者実践者モデルに基づき、学術研究と実践活動を通じてキャリア・カウンセリングに関する科学的見識と効果的な技能学びを深め合い、常に成長し続けることを目指します。また、研究と実践活動の成果やそれにもとづく各種提言を積極的に社会へ発信します。これらの活動を通じて、幸福かつ持続可能な社会づくりに貢献する団体でありたいと考えます。

## 中長期ビジョン



**I. 国・地域・年代・専門分野を超えた交流プラットフォームの実現**

**II. より高度な研究者・実務者育成のためのキャリア・カウンセリング研究と実践の進化**

**III. スーパービジョン、事例検討会を通じた実践力高度化の追求**

**IV. 時代が求めるキャリア・カウンセリングの研究知見の集積とその発信による社会貢献**

**V. DX への取り組みと持続可能な組織運営基盤の構築**

第27回（オンライン）大会 後援団体機関芳名

- 厚生労働省
- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
- 独立行政法人労働者健康安全機構
- 独立行政法人労働政策研究・研修機構
- 公益財団法人関西生産性本部
- 公益社団法人全国労働基準関係団体連合会
- 公益財団法人日本生産性本部
- 公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会
- 一般社団法人公認心理師の会
- 一般社団法人日本カウンセリング学会
- 一般社団法人日本学生相談学会
- 一般社団法人日本経済団体連合会
- 一般社団法人日本公認心理師協会
- 一般社団法人日本産業カウンセラー協会
- 一般社団法人日本心理臨床学会
- 一般社団法人日本臨床心理士会
- 特定非営利活動法人キャリアカウンセリング協会
- 特定非営利活動法人キャリアコンサルティング協議会
- 特定非営利活動法人日本キャリア開発協会
- 中央職業能力開発協会
- 中央労働災害防止協会
- 日本キャリア教育学会
- 日本産業ストレス学会

本大会を開催するにあたりまして、上記の諸団体様より多大なご支援を受け賜りました。  
ここに芳名を記し、厚く御礼を申し上げます。

2022年10月吉日  
一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会  
第27回大会実行委員長 原 恵子

第 27 回（オンライン）大会 広告賛助団体芳名

- 一般財団法人 ACCN（オールキャリアコンサルタントネットワーク）
- 株式会社北大路書房
- 株式会社金剛出版
- 株式会社日本マンパワー

本大会を開催するにあたりまして、上記の諸団体様より多大なご支援を受け賜りました。  
ここに芳名を記し、厚く御礼を申し上げます。

2022年10月吉日  
一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会  
第27回大会実行委員長 原 恵子

第 27 回（オンライン）大会 寄付協賛団体機関芳名

- 特定非営利活動法人日本キャリア開発協会

本大会を開催するにあたりまして、上記の諸団体様より多大なご支援を受け賜りました。  
ここに芳名を記し、厚く御礼を申し上げます。

2022年10月吉日  
一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会  
第27回大会実行委員長 原 恵子

# 北大路書房

〒603-8303 京都市北区紫野十二坊町12-8

☎ 075-431-0361 FAX 075-431-9393

https://www.kitaohji.com(価格税込)

## 産業・組織心理学 講座 第4巻 よりよい仕事のための心理学

—安全で効率的な作業と心身の健康— 産業・組織心理学学会企画 芳賀 繁編 A5・276頁・定価3410円  
本巻では、産業・組織心理学の領域のうち「作業部門」を扱う。「心と行動の統合体である」人間が、安全、快適かつ効率的に作業を遂行するための条件や阻害する要因を探究する。作業方法や環境、メンタルヘルスなど、関心のある章から読める。

## Journey with Narrative Therapy ナラティブ・セラピー・ワークショップ Book I

—基礎知識と背景概念を知る— 国重浩一著 日本キャリア開発研究センター編集協力 A5・312頁・定価3080円  
熟練ナラティブ・セラピストによるワークショップを再現するシリーズ第一弾。基本的知識や背景をわかりやすく初学者に向け解説。ワークによる実践の具体例やデモも一部掲載し、参加者の声も多数紹介。

## キャリアコンサルタント のための カウンセリング入門

杉原保史著 四六・216頁・定価1980円  
キャリアカウンセラーの現場で直面する苦労と悩みに平易に語りかける。第1部では、相談をより深く有意義にするための基本的見方や考え方、ちょっとしたヒントやコツをエピソードで紹介。第2部では、実践に役立つ代表的な心理カウンセリングの理論と技法を、エッセンスにしぼって概説する。

## シリーズ 心理学と仕事11 産業・組織心理学

太田信夫監修 金井篤子編集 A5・160頁・定価2310円  
キャリア形成に関わる人事、安全やリスク管理に根ざした行動のメカニズム、職場のストレスに応じた心理的な支援など、組織で働く人々の心理や行動について概説。「職場」という組織でおきる問題を広く扱う。人事評価・職場改善・安全管理・産業保健スタッフなど、現場で働く人々の声も掲載。

## はじめてのコーチングとファシリテーション

—人と組織を活かす心理学— 本山雅英著 A5・180頁・定価2420円  
好評書『大学生のためのコーチングとファシリテーション』の、「大学生のためだけじゃない」増補新装版。人と組織の活性化、リーダーシップの発揮に必要なスキルの土台を作る心理学的知見を精選しやさしく解説。

## ナラティブ・セラピーのダイアログ

—他者と紡ぐ治療的会話、その〈言語〉を求めて— 国重浩一、横山克貴編著 A5・408頁・定価3960円  
日本人の熟練ナラティブ・セラピストによる4つのデモンストレーションの逐語録を、全編収録。各々の対話について、対人援助職の3名が、さまざまな視点で読み解いていく。硬直した支配的な言説に抗して、治療的会話の多様性と可能性を探る。

## ふだん使いのナラティブ・セラピー

—人生のストーリーを語り直し、希望を呼び戻す— D. デンボロウ著 小森康永、奥野 光訳 四六・344頁・定価3520円  
トラウマ、虐待、個人的な失敗、悲嘆、老いなどの困難に対峙するためのユニークな質問や道具、アイデアを提供。「問題の外在化」や「リ・メンタリング」など、人生のストーリーを書き換える方法を実践的に解説する。

## シリーズ 心理学と仕事10 社会心理学

太田信夫監修 大坊都夫編集 A5・164頁・定価2310円  
個人、対人関係、集団そして社会の視点から、広汎なテーマや対象を扱う社会心理学。その研究成果は、人が関わる仕事で縦横に活用されている。「よく生きる」ための貢献を研究目標に据え、対人関係、コミュニケーション、社会的スキル、マスコミ、環境と社会を取り上げ、仕事との関連も扱う。

心理学って面白そう！  
どんな仕事で活かされている？

シリーズ 心理学と仕事 (全20巻) 完結！ シリーズ 監修 太田信夫

●A5判・148～232頁・定価2200～2530円

- |             |            |            |             |                |
|-------------|------------|------------|-------------|----------------|
| 1 感覚・知覚心理学  | 2 神経・生理心理学 | 3 認知心理学    | 4 学習心理学     | 5 発達心理学        |
| 6 高齢者心理学    | 7 教育・学校心理学 | 8 臨床心理学    | 9 知能・性格心理学  | 10 社会心理学       |
| 11 産業・組織心理学 | 12 健康心理学   | 13 スポーツ心理学 | 14 福祉心理学    | 15 障害者心理学      |
| 16 司法・犯罪心理学 | 17 環境心理学   | 18 交通心理学   | 19 音響・音楽心理学 | 20 ICT・情報行動心理学 |

# キャリア・カウンセリング エッセンシャルズ400

日本キャリア・カウンセリング学会 監修  
廣川 進, 下村英雄, 杉山 崇, 小玉一樹, 松尾智晶, 古田克利 編



「キャリア」, 「カウンセリング」の分野はもちろん, 「メンタルヘルス」から「人事・組織」, 「法制度・資格」までキャリア・カウンセリング, キャリアコンサルティングに必要な分野を網羅した403項目を168人の専門家が書き下ろした日本初のキャリア・カウンセリングの総合辞典! 1項目1ページで読みやすく, 関連用語のつながりもたどりやすい構成でキャリア・カウンセリングを総合的・体系的に理解するのにぴったりな一冊。  
A5判 上製 456頁 定価6,050円

# カウンセリング・スキルアップのこつ

面接に活かすアサーションの考え方

平木典子 著



本書には, 豊富な臨床経験に裏打ちされたあらゆる心理支援に応用可能な面接技術の要諦が公開されている。その技法の中心とするアサーションとは, 自分の想いを伝え, 相手の想いを聴くコミュニケーション技術である。クライアントに寄り添う著者のスタイルはきわめて合理的・実践的であり, よく「聴く」ことで相手との関係を大切に考え, クライアントとのコミュニケーション技術を示唆し, 現代の日常臨床においてアサーションを学ぶ意味を説く。読者は, 本書により, 心理面接における見立てと実践の技術を確実に向上させることができるであろう。  
四六判 並製 296頁 定価3,080円

## 心理職のための産業保健入門

小山文彦編著 公認心理師, 臨床心理士, 精神保健福祉士, カウンセラー必読!  
カウンセリングの幅がひろがる! 働く人の健康支援をはじめよう。  
A5判 296頁 定価3,080円

## 働く女性のヘルスケアガイド

荒木葉子, 市川佳居 編著 「成果が上がる健康経営」のための重要な解がここにある! 働く女性の能力を最大限に活かすために必要な健康管理とは?。  
A5判 232頁 定価3,520円

## キャリアカウンセラーのためのスーパービジョン

立野了嗣 著 経験から学ぶ構造を理論化した「経験代謝理論」で自分を振り返るスキルがみるみる身につく。キャリアカウンセラー必携ガイドブック。  
B5判 208頁 定価3,520円

## 大人のADHDのためのマインドフルネス

L・ジラウスカ著/大野 裕他監訳 成人でADHDをもつ人, 自分はADHDかもしれないと思っている人に役立つツールとして, マインドフルネスを紹介。実践方法を解説したCD付! A5判 232頁 定価3,520円

## 人生を豊かにするウェルビーイングノート

松隈信一郎 著 ころの「豊かさ」とは何だろうか? 昨今の混沌とした状況の中で, 本書では, ポジティブサイコロジーを使いころの健康を育てていく。  
B5判 192頁 定価2,860円

## 自殺の危険(第4版)

高橋祥友 著 自殺の危険を評価するための正確な知識と自殺企図患者への面接技術の要諦を多くの最新事例を交えて解説した画期的な大著。改訂第4版。  
A5判 488頁 定価6,380円

# 臨床心理学

Vol.22 No.5 特集 **臨床に生きる精神分析**  
増刊第14号 **心の治療を再考する**

臨床心理学の今を伝える専門誌 B5判160頁/年6回(隔月奇数月)発行/定価1,760円(増刊2,640円)/年間購読料13,200円(増刊含む, 送料小社負担)

# 精神療法

Vol.48 No.4 特集 **サイコロジカル・ファーストエイド**  
増刊第8号 **ころの臨床現場からの発信**

わが国唯一の総合的精神療法研究誌 B5判130頁/年6回(隔月偶数月)発行/定価2,200円(増刊3,080円)/年間購読料16,280円(増刊含む, 送料小社負担)

人生100年時代

# 働く人の 自律的キャリア形成を支援する

人生100年時代と言われます。働き方や生き方が多様化するなか、政府は「人生100年時代構想会議」等を発足させ、「従業員のキャリア自律と多様な学ぶ機会の整備」が政策キーワードとなっています。日本マンパワーは「キャリア開発」「人材開発」のバイオニアとして、これからも“イキイキ働く人がふれば社会はかわる”を事業コンセプトに個人・組織・社会の諸課題を総合的に解決するサービスを提供してまいります。

## 日本マンパワーのサービス領域

### キャリア開発

自律型人材を育成するためのキャリア開発・教育研修サービス

### 組織開発

自律型人材が組織の活性化に最大限貢献するための組織開発サービス

### 制度構築

自律型人材を育成するための人事・研修制度構築のコンサルティングサービス

### 国家資格キャリアコンサルタントの養成

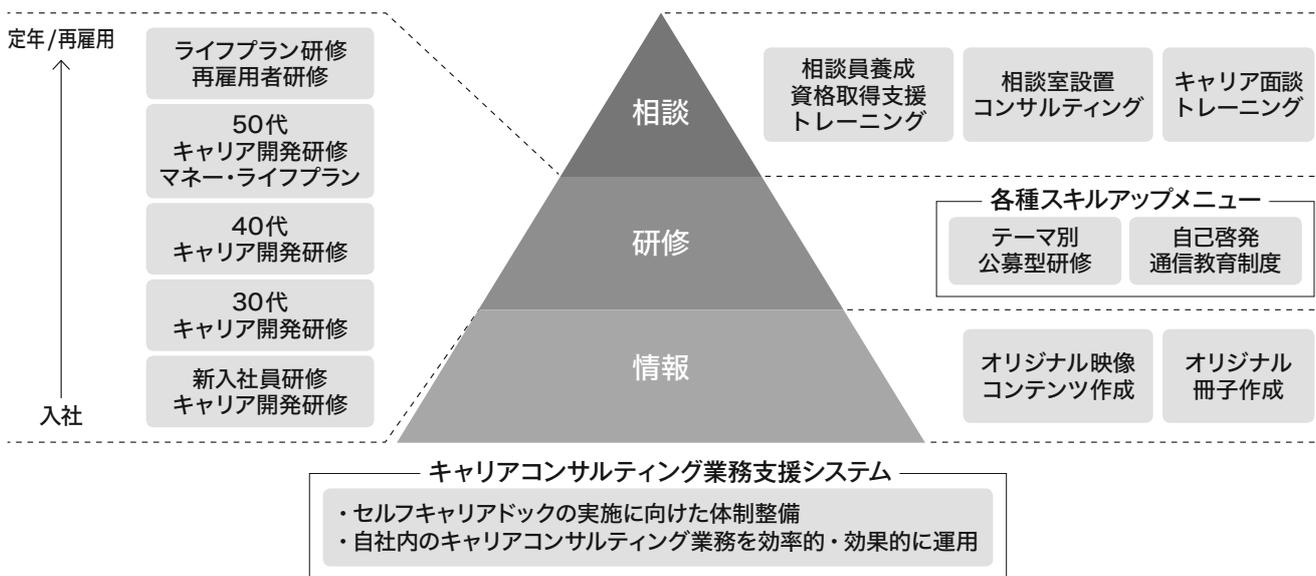
上記施策を支えるキャリア形成支援の専門家としての資格取得を支援。厚生労働大臣認定講習「キャリアコンサルタント養成講座（総合）～CDA資格対応～」を全国・オンラインで開講。

### 更新講習

厚生労働大臣指定のキャリアコンサルタント更新講習を実施。更なるスキルアップをサポート

## 日本マンパワーが考える企業内キャリア開発支援の全体像

年代別のキャリア開発研修と、相談機能の設置、情報提供で自律的キャリア開発をトータルにサポートします。



 日本マンパワー

本社/東京都千代田区神田東松下町 47-1

日本マンパワー

検索

<http://www.nipponmanpower.co.jp>

<企業内キャリア開発支援についてのお問い合わせ・資料請求>

札幌 TEL 011-221-0377 東北 TEL 022-221-7991 東京 TEL 03-5294-5070 中部 TEL 052-218-4122  
北陸 TEL 076-422-1223 関西 TEL 06-6266-3355 中四国 TEL 082-249-0945 九州 TEL 092-710-7642  
(平日9:00～17:30 土・日・祝休み)

<キャリアコンサルタント資格取得についてのお問い合わせ・資料請求>

CDA事務局 TEL 03-5294-5030  
(10:30～16:30 月・木・祝日を除く)

一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会 第27回（オンライン）大会

---

2022年 10月 5日 初版

大会実行委員長：原 恵子（筑波大学）

大会副委員長：加賀谷 晴美（札幌大学） 中村 准子（筑波大学）

大会事務局長：野条 美貴（目黒駅前メンタルクリニック）

大会技術担当：大野 亮一郎（清泉女子大学）

大会実行委員(50音順)：

磯貝 和子（株式会社SEMILLA） 小倉 浩靖（プレイワークラボ） 仙波 亮一（京都橘大学）

高橋 浩（ユースキャリア研究所） 土田 博司（日本キャリア・カウンセリング学会）

馬場 洋介（帝京平成大学） 原 哲也（原哲也事務所） 藤田 るり子（株式会社富士通ラーニングメディア）

山本 和美（山梨大学） 吉川 雅也（関西外国語大学）



一般社団法人

日本キャリア・カウンセリング学会

大会特設サイト <https://jacc-conf.info/27th/>

大会チケット予約 <https://jacc27th.peatix.com/>

本大会のお問合わせ e-mail : [conference-27th@jacc.or.jp](mailto:conference-27th@jacc.or.jp)

大会以外のお問合わせ

一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会（旧・日本産業カウンセリング学会）

〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-28 飯田橋ハイタウン1020号室

TEL & FAX : 03 (5228) 4418 e-mail : [info@jacc.or.jp](mailto:info@jacc.or.jp) HP : <https://jacc.or.jp/>



一般財団法人 ACCN

# みんなの「生きる」を キャリアでつなぐ。ACCN

ACCNは、国家資格キャリアコンサルタントの職能団体です



## ACCNは会員の皆様と共に

職業人生の長期化の中で、多様な働き方に寄り添うために。

全ての人々が自らキャリアを考え生きる社会を作るために。

それぞれの方の「生きる」をキャリアでつないで応援する団体でありたい。

ACCNは、国家資格キャリアコンサルタントの職能団体です。



## 入会のご案内

キャリアコンサルティング業務を安心して行うための「会員専用団体保険」から、活動・学びの場や各種情報のご提供まで、ACCNはキャリアコンサルタントの皆様の活動のサポートをいたします。詳しくはサイトをご覧ください。

<https://www.allccn.org/>



エーシーシーエヌ  
一般財団法人 ACCN

〒105-0021  
東京都港区東新橋2-11-7 住友東新橋ビル5号館9階  
TEL. 03-5402-3392 (平日10:00~18:00)  
support@allccn.org

